

天白区制50周年特別記念事業

かぼっちミーティング in コミセン

「かぼっちミーティングinコミセン」は

天白区制50周年をお祝いして行われた

“学区の学区による学区のための地域交流イベント”です。

区制50周年を迎える令和7年2月1日に向けて

令和6年7月から12月に区内全17学区で開催されました。

各イベントには、天白区のマスコットキャラクターかぼっちも登場して、学区や区内関係公署と一緒に企画を盛り上げました。

なかでも、天白区制50周年記念事業実行委員会企画

「かぼっちのおともだちを描こう!」プロジェクトでは

かぼっちのおともだちがたくさん誕生し、かぼっちもおよろこび。

天白区の宝ものがたくさん増えました。



～「かぼっちミーティングinコミセン」に寄せて～

夏祭り、秋祭り、大運動会、コミセン祭り、子どもフェスティバル、ウォーキング、防災フェスタ、そして寄席など「かぼっちミーティングinコミセン」として各学区で開催された全会場に伺い、子どもたちをはじめ地域のみなさまと交流し、心ゆくまで楽しませていただきました。

各会場で感じたその時々感動は、今でもまるで昨日のことのようによみがえり、胸が熱くなってまいります。

「かぼっちミーティングinコミセン」の会場は、どこも子どもたちの快活な笑顔や、地域役員のみなさまのバイタリティに満ち溢れ、会場全体から「地域のつながり・絆」が新たに誕生し続けているようなパワーを強く感じました。

これまでの50年からこれからの50年へ。

それぞれの学区から生まれ出たパワーを区役所一丸となり、区民のみなさまとともに大きく育て、天白区の明るい未来がゆるぎないものとなりますように努めてまいります。



天白区長 水野 一裕

平針南 学区

「夏祭り 納涼盆踊り大会」

子どもたちの太鼓や踊りで祭りに彩りを 学童保育クラブもトーチトワリングを披露



厳しい暑さとなった7月26、27日に細口池公園で「盆踊り大会」を実施し、約1,600人が夏祭りを楽しみました。やぐらの上では、事前に練習に参加した子どもたち31人が5班に分かれて3曲ずつ踊り、やぐらの下では太鼓サークル「ドンどこ」の人たちから教えを受けた小学生15人が力強く太鼓をたたき、祭りに彩りを添えました。太鼓を披露した小学5年生は「自分なりに練習の成果を出せた」と満足そうに話し、途中かぼっちが登場すると、子どもたちはうれしそう

にかぼっちを取り囲んでいました。学童保育クラブが飲み物やアトラクションのブースを出店。食べ物の屋台も並び、会場をにぎやかに盛り上げました。終盤、同クラブの5、6年生がトーチトワリングを披露すると、「わあ、きれい!」と、カメラやスマートフォンを向けて撮影する人の姿が多く見られました。最も盛り上がりを見せた抽選会では1等の高級肉やビール、高級アイスクリームなどの景品当選を願って、大勢の人が抽選を楽しみました。

平針南学区区政協力委員会委員長の杉山さんは「暑い中、大勢の方に集まっていただきよかったです」と喜びを話し、最後に参加者全員で「炭坑節」を踊り、平針南学区の夏祭りは幕を閉じました。



平針 学区

日本の伝統を伝える「かぼっち寄席」 マジック・講談・落語・浪曲 会場は笑いに包まれる



9月8日、平針新公民館で「かぼっち寄席」が開催され、約90人の町内会会員らが日本三大話芸と言われる講談・落語・浪曲などを楽しみました。

はじめに平針学区区政協力委員会委員長の近藤さんが「今回は寄席ということで演者さんをお呼びしました。皆さんに楽しんでいただけたら」とあいさつをしました。

寄席はマジカルハリマオのマジックショーで始まり、数々の不思議な演技に会場からは驚きの声が上がりました。続いて講談師の旭堂鱗林さんによる名古屋弁を交えた講談や、落語家の登龍亭獅篁さんによる名古屋独特の間を生かした落語が披露され、会場は笑いに包まれました。トリは浪曲師の春野恵子さんによる語り芸。春野さんが浪曲ならではの掛け声を紹介すると、客席から「待ってました!」「たっぷり!」などの掛け声が飛び交う一幕も。春野さんは曲師・一風亭初月さんによる三味線の伴奏に合わせて浪曲を演じ、その迫力ある語り到来場者は聞き入っていました。

来場者の中には「この日を楽しみにしていました。寄席を実際に見られてよかったです」と笑顔で話す人も。マジックや落語体験に参加したり、巧みな話芸に笑う子どもたちの様子を目にした近藤さんは「次世代に向けて寄席の文化を伝えたくて開催しました。実際に子どもたちにも参加してもらえてよかったです」と満面の笑顔で話していました。





平針北 学区

「ペットボトルXmasツリー」

学区からのクリスマスプレゼント 子どもたちの笑顔溢れる点灯式



12月22日に郷之島公園で「ペットボトルXmasツリー」の点灯式を行いました。今回3回目となるこの催しは、青少年健全育成部会との共催で行われ、大勢の人が参加しました。

今回は天白区制50周年記念事業と併せての開催で「かぼっちのおともだちを描こう!」の表彰式も行われ、入賞児童3名が平針北学区連絡協議会会長の山田さん、水野天白区長と一緒に点灯の合図を行いました。

クリスマスソングが流れ会場のムードも高まる中、約900本のペットボトルを使った3基のクリスマスツリーがライトに照らされ、シャボン玉の演出も加わり幻想的な輝きを放っていました。1本1本のペットボトルには、平針北小学校の児童やめばえ保育園

の園児たち、事前に開催されたワークショップに参加した地域住民らが、絵を描いたりシールを貼るなどして飾り付けをしました。

参加した人たちは「毎年楽しみにしています」「自分のものを見つけやすいように飾り付けに工夫しました」などと話しながら、自分や友達が作ったペットボトルを楽しそうに探していました。

平針北学区連絡協議会会長の山田さんは「寒い冬でも子どもたちが喜ぶことをとの思いで始まったこのイベントは、学区から子どもたちへのクリスマスプレゼントです。これからも続けていきたいですね」と話していました。



原 学区

「世代間交流会」

お絵描きやゲームを通じ 高齢者と 小学生が世代を超えて交流



世代間の交流を深めようと8月9日、原コミュニティセンターで「世代間交流会」が行われ、地域の高齢者や原小学校トワイライトスクールの児童、天白図書館職員ら総勢55人が参加しました。

はじめに参加者らは9つのグループに分かれ、「かぼっちのおともだちを描こう!」というお絵描きに挑戦。「かぼっち」が天白区の伝統野菜「くりあじかぼちゃ」や「八事五寸にんじん」をイメージして作られたマスコットキャラクターであることから、

そのともだちも野菜や生き物などをベースにする子どもが多く、楽しそうに顔や服を描いて名前をつけていました。各グループでは、子どもたちが高齢者のアドバイスに耳を傾けている微笑ましい光景も見られました。そこへかぼっちが登場! 参加者は突然、目の前に本物のかぼっちが現れて大喜び。かぼっちに声を掛けたり握手をしたりと触れ合いを楽しみました。

続いて2チームに分かれ「輪投げ」で対戦。輪が入った点数で得点を競い合いましたが、会場には輪を外して悔しそうにする人や成功して喜ぶ人の声が響き、大いに盛り上がりを見せていました。

対戦後には参加者全員にお菓子やかぼっちグッズの景品が配られ、皆さんうれしそうにコミセンを後にしました。

会を振り返り、原学区区政連絡協議会会長の横地さんは「特に子どもたちが意欲的に楽しんでくれてよかった。高齢者と子どもたち、そしてかぼっちとの楽しい触れ合いの思い出ができたと思います」と笑顔で話しました。





植田 学区

「夏まつり」

地域みんなの力で盆踊り大会 屋台も充実 大盛り上がり!



8月24日、植田小学校で「2024植田学区夏まつり・納涼盆踊り大会」を開催し、大勢の人でにぎわいました。校庭には植田八幡宮から借りた櫓(やぐら)が組まれ、盛大に盆踊りが繰り広げられました。

区政協力委員会のほか、子ども会、PTA、おやじの会、学童保育などの協力で、水ふうせん釣りやくじ引きなどの楽しい遊びの屋台や焼きそば、玉せんなどの飲食の屋台がずらりと校庭に並びました。来場者は去年よりも増えましたが、地域の力を結集してメニューを増やしたことで、昨年よりも行列が減り、スムーズに進めることができました。「かぼっちのおともだちを描こう!」というお絵描きのコーナーでは、常に満席の状態が続くほどたくさんの子もたちが参加していました。そこへかぼっちが登場すると、子どもたちは大喜びでかぼっちに駆け寄り、触れ合いを楽しんでいました。日が暮れてちょうちんに明かりが灯ると、祭りの雰囲気も一層盛り上がりを見せ、太鼓の音や曲に合わせ、大人も子どもも櫓の周りに集まって盆踊りを楽しみました。途中、来賓らが櫓に上がり天白音頭や炭坑節を披露する場面も見られました。来場者からは、「出店が多くて楽しかった」、「盆踊りが盛り上がって 良かった」などの声が聞かれました。植田学区連絡協議会会長の丸山さんは「たくさんの方に来てもらえてうれしい。今後も地域の皆さんが喜んでくれる催し物をやっていきたいです」と語りました。



植田南 学区

「わが街ぐるっとウォーキング」

楽しく歩いてスタンプラリー もっと知ろう!学区のこと



地域交流をしながら学区の施設を知ってもらおうと、「南っ子クラブ」が毎年開催しているスタンプラリー「わが街ぐるっとウォーキング」。今回は10月5日に規模を拡大し、植田南学区連絡協議会の主催・区政協力委員会など11団体の協力の下に開催され、約150人が参加しました。

はじめに同協議会会長の横地さんは、参加した児童たちに向け、「植田南学区は自然があって文化も多様です。皆さんに学区の深いところまで知り、いろいろ感じてもらって、明るい未来作りに生かしてほしいです」と語りかけました。

参加者は8つのグループに分かれ、植田公園を拠点に天白川緑道や全久寺、植田八幡宮など学区内にある施設10カ所を巡り、約4.5キロ、2時間のスタンプラリーを楽しみました。

途中、植田八幡宮の裏にある古墳について学んだり、全久寺ではクイズなども行われ、子どもたちは夢中になって取り組んでいました。

スタンプラリー最終地点の植田公園に戻ってきた子どもたちは、全てのスタンプを押したカードを手に「楽しかったし、達成感があった!」などと笑顔を見せました。

植田南学区区政協力委員会委員長の太田さんは「子どもたちが皆、元気に長距離を歩いてゴールしてくれました。新しい発見をしたり、今まで以上に植田南学区を好きになってくれた皆さんを見て、大切な行事であると改めて実感しました」と笑顔で振り返りました。





植田北 学区

「コミセン祭り」

小学校を会場に盛大に開催。ステージ発表や 食事コーナーなど大にぎわい



9月8日、「第21回コミセン祭り」が例年より規模を拡大して 植田北小学校で行われ、例年の3倍以上の400人超の人でにぎわいました。

体育館では開会式後に天白区在住のギタリスト、モリヒロキさん率いる「モリヒロキトリオ」によるミニコンサートが開かれ、優しいギターの音色や透き通る歌声で来場者を魅了しました。同祭は植田北コミュニティセンターで開催している講座に参加する人たちの発表の場でもあり、コーラスサークルは歌声を披露し、書道や絵画、囲碁の教室は作品の展示や体験を行うなど、日ごろの練習の成果を発揮しました。そしてこの地域ではすっかりおなじみの和太鼓クラブ「植北っ鼓」がかぼっちのお面を付けて登場し、「テイク・イット・イージー」と「清流」の2曲を披露。力強い和太鼓の演奏で会場を大いに盛り上げました。その他、ビンゴ大会が行われ、工作や「かぼっちのおともだちを描こう!」のコーナーなどでも多くの人たちの楽しむ姿が見られました。

屋外には食事コーナーが設けられ、傾斜を生かして作られた流しそうめんにも大人も子ども也大興奮。カレーライスやかき氷、冷やしパインなどもあり、どれもかわり自由とあって長い列ができていました。植田北学区連絡協議会会長の甲斐さんは「準備は大変でしたが、たくさんの方が来てくれて大成功だったと思います」と喜びを語りました。



植田東 学区

「防災フェスタと子ども会まつり」

家族で参加し防災意識を高める 展示と体験通じ楽しみながら学ぶ



家族で楽しみながら防災への関心や意識を高めてもらおうと、11月17日に植田東小学校で「防災フェスタ」を開催し、約330人が参加しました。

指定避難場所とされている小学校を会場とし、体育館入り口での避難所登録票に記入する避難所受付け訓練から始まり、備蓄品の紹介、建物の揺れ実験、AED（自動体外式徐細動器）講習、煙道体験、自衛隊の車両展示、給水車からの給水体験など、防災について見て、体験し、実践しながらに学びました。初めてAED講習を受けた親子は「難しかったけど覚えてよかった。勇気を出して声を掛けられるようになればいいですね」と感想を話しました。また、運動場で給水体験をした男子児童は「水を運ぶのが重たくて大変だった」と話し、自衛隊の車で記念撮影した児童は自衛隊の野外用調理器具について「50人前も作れるなんてすごい」と驚いた様子で話しました。子どもたちは、区制50周年記念事業のステージでのコンサートやダンス、同時開催された子ども会まつりのゲームにも参加したりと終始、楽しそうでした。植田東学区区政協力委員会委員長の石原さんは「初めての防災イベントでしたが、多くの方々のご協力により実現できました。今後も続けていくことで、一人でも多くの方に防災について関心を持ってもらえると嬉しいです」と振り返りました。





大坪 学区

「おおつぼまつり」 迫力のステージと 多彩な遊びコーナー



11月10日、大坪小学校で「第24回おおつぼまつり」を開催し、約1,200人が参加しました。会場のあちこちで子どもたちとかぼっちの触れ合いが見られ、メイン会場の運動場にはステージプログラムや子どもから高齢者まで楽しめる催しが満載で、多くの笑顔がはじけていました。

ステージの開演では名城大学の管弦楽団が演奏を披露し、迫力ある見事な演奏に皆さん感動しきり。続いてコカリナや和太鼓なども披露され大いに盛り上がりました。また、運動場一帯に、ストラックアウトやモルック、輪投げ、汽車ぼっぼ、グラウンドゴルフなど、多彩な遊びコーナーが設けられ、スタンプラリーも兼ねて皆さん楽しそうに参加していました。

飲食コーナーにはたこ焼きや唐揚げなどのキッチンカーが並び、パンの販売や学童保育クラブの綿菓子販売なども賑わいを見せました。防災コーナーでは、煙道体験や初期消火体験、毛布を使って人を運べることを学べてよかった。子どもにとっても貴重な体験でした」と話していました。体育館の1階では「かぼっちのおともだちを描こう!」というお絵描きコーナーが設けられ、大勢の家族連れがそれぞれの発想で友達のを描きました。参加した人は「家族で絵を描くことはなかなかないので、楽しかったです」と笑顔を見せていました。

大坪学区連絡協議会会長の山崎さんは「雨予報だったが雨に降られることもなく、実行委員や連絡協議会、参加団体の皆さんのおかげで、小さな学区ながらも盛大に開催することができました」と喜びを話していました。最後に皆がステージに集まり「翼をください」を合唱し、和気あいあいとした雰囲気のままに祭りは終幕しました。



八事東 学区

「防災訓練とかぼっちと遊ぼう」 防災訓練で災害に備えて学び 子どもたちとゲームで盛り上がる



11月9日午前は大人を対象に「防災訓練」を、午後は子どもを対象に八事東コミュニティセンターで「かぼっちと遊ぼう」を開催しました。

八事東学区連絡協議会会長の近藤さんは「災害が起きた時は皆が被災者になります。その時に動ける人がやるしかない。まずは知っているということが大事」と17ある町内会で防災の代表を募り、防災訓練を開催しました。

訓練は、初期消火訓練、心肺蘇生法訓練などが行われ、参加者は消防署員の話を耳を傾け、訓練を通し「直接見られてよかった」「実際に使ってみる大切さを感じたので色んな世代を巻き込んでやっていきたい」などと感想を話していました。また女性会は炊き出し訓練を行い、160人分を作る大鍋を使って具だくさんの豚汁を作り、参加者に振る舞いました。

午後からは普段コミセンに入る機会の少ない子どもたちにも楽しく遊んでもらいたいと「かぼっちと遊ぼう」を開催。多くの子どもたちが訪れ、輪投げやボウリング、ボール投げなどのゲームを楽しみ、町内会長や子ども会会長らが場を盛り上げ、多くの子どもたちの笑顔であふれていました。

近藤さんは「たくさんの方が来てくれて事故なく盛況に開催できてよかったです。地域の皆さんと一緒に実施しましたが、積極的な協力がとてもありがたかったです」と開催の喜びと感謝の気持ちを述べました。





表山 学区

「子どもフェスティバル」 ゲームやワークショップ たくさんの笑顔で溢れる空間



10月5日、表山コミュニティセンターで「子どもフェスティバル」が開催され、約120人の親子が参加しました。屋内では輪投げなどのゲーム、スワッグ（花や葉を束ねて壁にかけ飾り）作りや木のキーホルダー作りなどのワークショップが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

他にも天白環境事業所がごみの分別ゲームを開催し、来場者は楽しみながら分別について学びました。屋外では消防車と記念撮影するコーナーも設けられ、消防車が好きな子どもは防火衣を着てうれしそうにポーズをとり撮影を行っていました。

イベントを企画したのは、中学生の頃から子ども会の活動を手伝っていたという若者世代の加藤さんと松本さん。加藤さんの「夏祭りをやってみたい」という思いがきっかけとなり今回の子どもフェスタを開催することに。加藤さんは「これからも地域の活動を続けていくことで、来てくれる子どもたちが増えたらうれしいです」と話し、松本さんは「今までは手伝う立場だったのですが、自分で考え、ゼロから生み出したものが、来てくれた子どもたちに喜んでもらえてやりがいを感じました」と振り返りました。

表山コミセン運営委員会会長の柳生さんは「久しぶりのコミセンでの子ども向けイベント開催となりました。企画運営では地域の学生さんがリーダーとなり、さまざまなゲームやワークショップを考えてくれたことで、家族で楽しめるイベントになったと思います」と目を細めていました。



天白 学区

「かぼっちミーティング in 島田公園」 ゲームや模擬店、大盛況 来場者もスタッフもふれあい楽しむ



11月17日、島田公園でかぼっちミーティングを開催し、500人を超える人が秋の一日、祭りを楽しみました。

祭りは子どもたちを中心に楽しめる内容で企画され、ボウリングやゲームなど大勢の子どもたちが参加して盛り上がりました。中でも、子ども会主催の釣りゲームには長い列ができ、何度も並んで記録に挑戦する子がいたり、ストラックアウトでは3枚抜いてビンゴになり大喜びする子もいました。

模擬店では女性会がたませんとうとフランクフルトを、シニアクラブがみたらし団子をそれぞれに販売。朝から参加していた子どもたちは、休憩しながら買ったものをおいしそうに頬張っていました。

また区役所が防災意識を高めてもらうことを目的に防災ジオラマを展示し、来場者は足を止めて真剣に見ていました。消防署によるちびっこ防火衣の着用コーナーもあり、防火衣を着た子どもたちは目を輝かせていました。

また、豪華景品が当たるビンゴゲームが3回にわたって行われ、子どもたちはビンゴカードを握り締めて出てくる数字に一喜一憂していました。

天白学区区政協力委員会委員長の伊藤さんは「大盛況で開催でき、来場者もスタッフも楽しんでいる様子が見られてよかったです」と感想を話しました。





山根 学区

「地域でつながろ!も〜やっこ山根in小学校2024」 「地域でつながろ!」を合言葉に 特別な体験ができるおまつりを開催



12月15日、山根小学校で「地域でつながろ!も〜やっこ山根in小学校2024」を開催しました。

今回は天白区制50周年記念事業ということで、区政協力委員、福祉推進協議会員やPTA、民生児童委員、子どもたちを中心に総勢400人が参加し、地域をあげての祭りとなりました。

メイン会場となる体育館内に設置されたロープで空中を駆け抜ける「ジップライン」に子どもたちは目を輝かせ、歓声を上げていました。参加した子は「普段から通っている小学校の体育館でジップラインができることに驚きました。とても楽しかったです」と話していました。

他にもボッチャやボウリング、輪投げなどのスポーツやゲーム、風船カーやキラキラアートのクラフトコーナーなど、参加型アトラクションが数多く準備され、たくさんの笑顔であふれていました。また、運動場や小学校に隣接する畑では、本物の重機（ショベルカーなど）をプロと一緒に操作する特別な体験ができ、ショベルカーの操作体験に参加した子は「ずっと運転してみたいと思っていたので、最高の思い出になりました」と笑顔を見せていました。

模擬店のみたらし団子や飲み物、地元の新鮮野菜の販売コーナーには購入する人の列が絶えることなく多くの人でにぎわいました。山根学区連絡協議会会長の太田さんは「開催予定日の1か月前を切ってから急に日程変更をすることになり調整が大変でした。実行委員やたくさんの方々に協力いただき、今日を迎えることができました。子どもたちに特別な思い出をつくって欲しい、そんなことから『地域でつながろ!』という気持ちで実施しています。その気持ちを参加者に感じてもらえたら大変嬉しいです」と話しました。



しまだ 学区

「しまだ学区秋まつり」 1,300人が来場して大盛況 ゲームもステージも盛り上がる



10月20日、御前場公園で「しまだ学区秋まつり」が開催されました。御前場自治会のサポートを受けながら、大根自治会連合、高島町内会と協力し、1,300人が来場した盛大な祭りとなりました。

子どもから大人まで楽しめる祭りを目指し、各年代に合わせたコンテンツを用意し、ストラックアウトなどのゲームコーナーや、ユニバーサルスポーツのモルックやアキュラシーを体験できる場が設けられ、子どもたちは行列を作ってゲームに参加し、景品を手に入れそうな顔を見せていました。ステージでは、民謡やウクレレ演奏、和太鼓、よさこいの演舞などの他、餅投げや抽選会も行われて終始会場は盛り上がりました。10代〜70代が所属するという和太鼓サークル「氣楽」は、力強い演奏で4曲を披露。終演にメンバーらがステージを下りて演奏すると、観客は大喜びで、手を叩いて参加する人もいました。続いてよさこいソーラン踊りで有名な「常笑」も迫力の舞で観客を魅了。まるで「につぼんど真ん中祭り」さながらでした。他に毎年竹や木でおもちゃや虫などを作って販売するお店は大人気で、今年も多くの子ども達がお気に入りの一つを買い求めていました。しまだ学区連絡協議会会長の和田さんは、おまつりを振り返り感謝の言葉と共に「今年の秋まつりの開催に際し、『来年も継続して開催できること』を目標にしました。経費をなるべく抑え、こだわり過ぎず、シンプルにして、来年以降も無理なく開催できる内容を目指しました。来年も学区会員の皆さまに喜んでいただけるまつりとなるように努力を重ねていきたいです」と語りました。





高坂 学区

「かぼっちミーティングin高坂コミセン」

毎年楽しみにしている住民たち ステージとゲームで盛り上がる



11月10日、高坂公園で「かぼっちミーティングin高坂コミセン」を開催し、多くの人が訪れました。「スクエアバトン教室」のステージでは、生徒が日ごろの練習の成果を披露。ダンスをしながらバトンを回したり投げてキャッチするなど、息の合った踊りや技で会場を盛り上げました。続いて「尾張太鼓 竜乃会」による演奏が披露され、公園内に力強い音が響きました。

それぞれの演舞に見入っていた来場者は「とても楽しく見えています」「皆さんとても上手で見事です」と話していました。会場内ではストラックアウトや交通ルールが学べる釣り、子ども会的あてゲームもあり、子どもたちは楽しそうに参加していました。

他にも「手芸わかば」のバザーや「ほっとはむ」のパン販売のブースがあり、買い物を楽しむ人たちにぎわっていました。

「手芸わかば」の女性は「作ることが好きです。地域に貢献できたら」との思いで何年も前から参加していると話していました。

高坂学区区政協力委員会委員長の東さんは「毎年好評の高坂鍋（豚汁）が今年はずり残念でしたが、天気にも恵まれてよかったです。今後も皆さんに喜んでもらえる行事を続けていけたらと思います」と振り返りました。



相生 学区

「相生コミセンまつり」

天白区制&相生学区50年を祝う 子どもも大人も楽しめるお祭りを開催



11月17日、相生コミュニティセンターで地域の交流と利用者団体の発表の場として「相生コミセンまつり」を開催しました。今年は天白区制と相生学区誕生50年を記念した特別企画も用意されました。

午前中はボウリングや輪投げなど子どもたちが楽しめる内容を実施し、会場に入りきれないほどの子どもたちであふれ、ゲームなどを楽しんでいました。

午後にはコミセン利用者が日頃の活動を発表。バンド活動を10年以上続けているCGCの演奏や相生山太極拳教室の演武などが披露され、来場者は手拍子をしたり一緒に体を動かして参加していました。

その後、特別企画「音楽の力で人を幸せにしたい」と題し、天白区にゆかりのあるバイオリニスト濱島秀行さんとピアニスト鎌田浩史さんによる演奏が行われ、皆さん、美しい音色に酔いしれていました。演奏後には大きな拍手と「ブラボー!」という声援が送られました。

最後に行われたお楽しみ福引会は、賞品が当たる度に当選者らに会場から拍手が湧き起こる和やかな雰囲気が進み、最後は万歳三唱で幕を閉じました。

相生学区区政協力委員会委員長の吉沢さんは「準備をしてくれる皆さんがいてありがたいです。これからもコミセンを盛り上げていきたいです」と感謝の思いを語りました。





野並 学区

「野並コミセン祭り」

ステージと作品展で活動発表 小さな子から高齢者まで楽しむ



コロナ禍以降は展示を中心に開催されていた「野並コミセン祭り」。今回は11月30日と12月1日の2日間に拡大して野並コミュニティセンターで開催され、両日で200人を超える住民らが訪れました。

1日目はコミセン利用者や学区につながるの団体がある団体の活動の成果を発表。「相生ふれあい太鼓」の演舞で開幕し、「楽団ねこ」がエジプトの打楽器「タブラ（ダルブッカ）」で軽快なリズムの演奏と名古屋弁のトークで

会場を盛り上げました。

続いてカラオケ同好会やフラダンス教室「LUANA」、日本民謡研究会「豊寿会」の皆さんが日頃の成果を披露しました。「皆さんすごいですね」と来場者は感心し、会場は大きな拍手で包まれました。午後には学区住民の10人が「カラオケのど自慢」に参加し、それぞれが得意な歌を披露しました。

2日目にはコミセン利用団体や学区住民の作品展が行われ、来場者は展示作品を鑑賞したり、和室で振る舞われた抹茶と和菓子を楽しみ、ゆっくりと過ごしていました。

野並学区連絡協議会会長の近藤さんは「学区全体と区役所が協働して開催し、大成功に終われてよかったです。小さな子から高齢者まで多くの方に楽しんでもらえたと思います」と振り返りました。



かぼっちミーティングinコミセン みなさんの声

かぼっちに会えて
嬉しかった！



子どもと一緒にゲームや
ワークショップに
参加することができて
楽しかったです！



友だちと一緒に参加して
楽しかった！
来年も参加したいな！



イベントに参加して、
学区のイトコを知
ることができてよかったです



参加者から感謝の
言葉をかけてもらって、
イベントをやっ
て良かったなと
感じました。



老若男女問わず、
みんながいきいきと
していて、
会場で笑顔が
あふれていました。



準備が大変だったけど、
家族連れがたくさん来て
くれて、若い人たちに
地域のことを知って
もらえたと思います。



イベントでの体験を通じて、
火災が起きた時に命をまもる
行動を知ってもらうことが
できました。



かぼっちも
参加したよ！
たくさんの人たちの
笑顔に会えて
嬉しかったあ
あちこちで生まれた
交流が、地域の中で
つながっていくと
いいな〜♡



かぼっち ミーティング in コミセン たくさんの笑顔が ありました。



スタンブラリーががんばったよ(表山)



かぼっち寄席でマジック体験(平針)



おともだちの絵が
缶バッジに
なったよ(平針北)



かぼっちのおともだちを
たくさん描いたよ(天白)



力強い和太鼓演奏(植田北)



楽しいかぼっちゲーム!(高坂)



やってみたよユニバーサルスポーツ
ポッチャ(山根)



初期消火訓練(植田東)



大人も子ども
かぼっち大好き♡(原)



かぼっちのおともだちを
シールで投票したよ(植田南)



運動場にオーケストラが
やってきた(大坪)



かぼっち輪投げ 頑張るゾ(八事東)



平針南学区夏まつり(平針南)



かぼっちのおともだち...
どんな子かな?(植田)



相生コミセンまつり
太極拳(相生)



かぼっち大好き!!(しまだ)



餅つき
べったん
楽しいな
(野並)

「かぼっち
ミーティング in コミセン」を
通して、たくさんの宝物ができました。
人の輪、「ココロ」の絆、「地域」のつながり。
そしてなにより、大勢でできた
かぼっちのおともだち! これから先の未来、
この宝物を大切に育てていきたいね。



天白区制50周年特別企画

まるごとてんぱく 語りおろし

各学区区政協力委員会
委員長座談会

平針南

- ①春に水仙と桜が咲き、たくさんのツバメが訪れる細口池公園
- ②人間同士が思いあって寄り添う、温かくて優しいまちにしたい
- ③この先、学区がどんな形になっても、「人は温かくて優しいものだよ」と伝えたい

区制50周年を記念して、地域に笑顔があふれる街づくりをめざし、日夜奮闘しておられる区政協力委員長のみなさんに、地域のつながりや地域独自の魅力を語りつくしていただきました。

天白区17学区を5つのエリアに分け、3つのテーマで、熱く語っていただきました。

学区名

3つのテーマ

- ① 学区の見どころ
- ② 学区運営にかける思い
- ③ この次の50年に向けて地域の子どもたちに伝えたいこと

平針

- ①名古屋市が誇る重要な文化財「平針木遣音頭」
- ②ホームページなどを通して、特に若者たちに興味を持ってもらいたい
- ③子どもたちが楽しめたり、親子でちょこっとボランティアできる行事を企画していきたい

第1回



原

- ①幼稚園・保育園から大学までがそろった文教地区と302号線から望む御嶽山や木曽山脈の景観
- ②郷土愛をもち、みんな一丸となって問題解決できる学区づくりをしていきたい
- ③残したい風景、伝えたい文化をなど、住民の気持ちが一つになるものを大切にしていきたいこと

平針北

- ①天白川のほとりに咲き誇る、20年前に植えた桜と充実した地下鉄や商店街などのインフラ
- ②防災を主軸に、新しい街づくりを進めています
- ③「私のふるさと」として心に残る地域を作っていきますよ、と伝えたい

植田

- ①桜並木をはじめ、ツツジやサツキなど街を彩る様々な花木
- ②コミセンや公園を地域の人々が安心して集える場所にしたい
- ③学区の品格を大切に、子どもたちも巻き込んで地域づくりに取り組んでいきたい

植田南

- ①「ぐるっとウォーキング」で学ぶ、植田八幡宮の古墳など土地の歴史
- ②初めての人も興味をもって自由に参加できるような、「ひとり一役」運営をしていきたい
- ③子どもたちには「いつも見守っているよ」と伝え、みんなの笑顔にあふれる場所を作っていきたい

植田北

- ①お祭り好きが集う、焼山公園のどんと焼き
- ②役員をもてなすような気持ちで、明日の学区の会議が楽しみになるような運営をしていきたい
- ③地元に着愛を持ち、また戻ってきたいと思える学区にしたい

第2回



植田東

- ①学区2大行事の夏祭りと運動会
- ②若い人たちが興味をもって参加してくれる地域活動の仕組みづくりに努めています
- ③住みやすいだけでなく、子どもたちが戻ってきたくるような学区にしていきたい



【第1回】令和5年10月 2日／平針南・平針・平針北・原

【第2回】令和5年12月12日／植田・植田南・植田北・植田東

くわしくはコチラ /

【第3回】令和6年 5月 7日／大坪・八事東・表山

【第4回】令和6年 6月 3日／天白・山根・しまだ・高坂

【第5回】令和6年10月 7日／相生・野並



大 坪

- ①かつてあった「天白溪」という景勝地が変化して、マチとムラが融合した感のある風景
- ②学区運営の組織をわかりやすくし、参加する輪を広げたい
- ③孤立する人がないよう、積極的に声をかけられるような地域にしていきたい

八 事 東

- ①「念仏講」や「庚申講」など古いしきたりにあふれるところ
- ②様々な行事に関わってくれるボランティア的な人材の育成に努めています
- ③挨拶を大切にして、人と人のつながりを生んでいきたい

第3回



天 白

- ①神社仏閣・行政機関が集中し、公園も多いところ
- ②住民が多く、学区運営にも人数が必要です。地元に残る若い世代が少ないことが課題
- ③先人たちの功績を残しつつ、新しい住民に関心を持ってもらえる地域活動をしていきます

第4回



表 山

- ①急こう配の坂と、その坂がゆえに生まれる絶景
- ②マンパワーを集約して、住民が主体的に関われる地域活動をしていきたい
- ③若い世代が積極的に地域活動に関わり、「地域」を意識してほしいです

山 根

- ①相生山緑地と共存する住宅地
- ②地域の交流行事を通じて、町内会の意義を感じてもらえるように働きかけています
- ③先人たちがつないできたバトンを次の世代にうまくつなげていきたい

しまだ

- ①新しく誕生した「たかしま小学校」
- ②福祉、防災、青少年健全育成。この3つの問題に世代を超えて力を合わせて取り組んでいきたい
- ③子どもたちには、自分たちの安心安全を守ってくれているのは、地域の人たちであることを伝えたい

高 坂

- ①かつて、尾張藩武士の狩場であったといわれる歴史ある場所
- ②若い人たちに地域活動に積極的に参加してもらい、事業を引き継いでいてもらいたい
- ③小学校の跡地に、皆が興味を持てるような施設を作ること考えていきたい

相 生

- ①「相生山緑地オアシスの森」と活発なコミセン活動
- ②何事も工夫を凝らして、形を変えながらも地域活動をやっていくことが大切
- ③宇宙に飛び出すような大きな夢をもって進んでほしいです

第5回



野 並

- ①織田信長にまつわる歴史のある野並八剱社と全国レベルのダンスチームがある若宮商業高校
- ②多くの人の力を借りて、企画段階から一緒に携わってもらい盛り上げていくように心がけています
- ③地元を愛して、今の仲間をいつまでも大切に、絆を深めてほしいです

2023 Future session@TEMPAKU 天白区 子ども区民会議

Report

天白区の
今までの50年を
知ったよ

この先の
50年をみんなで
考えたよ

天白区
マスコットキャラクター
「かぼっち」

Vol.1

2023.8.2(水)

Work shop

まずは **アイスブレイク**

楽しいアクティビティで、
ちょっぴり緊張した雰囲気が
ぐっとなごやかに!

ちょっとリラックス
コミュニケーションの
コツも学んだよ



1 プチ講座「天白区の昔を知ろう!」～見学ツアー 「高い場所から眺めてみよう!」

天白区のあゆみ

1906年、4つの村が
天白村になる

1955年、天白村が名
古屋市昭和区に入る

1975年、昭和区から独立して
天白区誕生!この時、人口は
87,931人。この後、開発が進み
学校や区役所などの施設が
できてきました。

現在、天白区の
人口は16万人
なんだって!



昔の天白区



原駅(バスターミナル(昭和53年))



天白中学校上空あたりより北方(昭和50年航空写真)

昭和57年の住宅地図や古写真
と、名城大学タワー75の会議室(10
階)や展望フロア(15階)からの眺
めで、昔と今を比べてみました。

昔と今のまちを見比べた後は、
天白区の良いところ、悪いところ
を考えました。

2 えんたくん会議「天白区の強み・弱みって?」 ～「VISION2073★なったらいいナ!こんなまち」

段ボール製の円卓(えんたくん)を囲んで、現
在の天白区の「ここはイネ(強み&魅力)」と
「ここはどうか? (弱み&問題)」を書き出しまし
た。最後に、「50年後の天白区がどんなまちに
なったらいいか?」を川柳にして発表しました。

色んな意見を
川柳にまとめるのに
苦労しました



この日のひとことアンケート

- 天白区のいい所がみんなの意見を通してよく知れた。逆に課題もよく知れた。
- 自分の知らない天白区のみりよくを人と話しあってやったりすると、もちろん人との関りもあるけれど、たくさんの意見を知ることができた。きんちょうしていた、話せるかな...など。けれど、みんなが話してくれたから楽しかった。
- 昔の地図と現在のまちを比べてみると、緑は多いけど少し減っていたんだなと思いました。あと、自分が今住んでいるところは、もともとなかったんだなと思うと、発展したんだなと思いました。

令和7年2月に区制50周年を迎える天白区。
区内の小中学生がサポート役の大学生と一緒に
これまでの区の歴史を振り返りながら
「こんなまちにしたいな」を考えました。

Vol.2
2023.8.9(水)
Work shop

1 区役所ってどんなところ？

区役所の各課の仕事について説明を聞いたあと、区役所探検にでかけました。



2 SDGsとは～2030SDGsゲーム

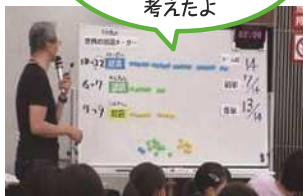
動画やスライドで「SDGsって？」を学んだあと、カードゲームに挑戦。ゲームを通じて、自分の行動が世界とつながっていることを実感しました。

このゲームは？…様々な価値観を持った人（チーム）が自分達のゴールを達成するため、お金と時間を使いながらいろんなプロジェクトを進めていくと、その活動が世界にインパクトを与えます。

「経済」「環境」「社会」の3つの指標で表す世界の状況を確認しながら、他のチームと交渉したり協力しあって活動していくと…2030年はどんな世界になるかな？



★SDGsが
なぜ必要なのか？
★SDGsがあることでどんな
可能性が生まれるか？を
考えたよ



3 ふりかえり～「つながっている世界」

ゲームを通して気づいたことや、現実の世界で活かそうなことにについて考えて、意見交換。SDGsの本質についても勉強しました。

SDGsの本質の1つは「世界はつながっている」そして「私も起点」ということ。もう1つは「見える化」です。

世界が目指す目標を「見える化」し、共有することによって行動が変わる。自分ごととして動く人が1人でも増えれば、世界が変わる。未来は変えられるんだね！



SDGsで学んだことは
天白のまちづくりでも
同じだね！



まちづくりの心得は

①バックキャストिंग

最初に目標とする未来像を描き、
そのためにどうしたらいいか考えよう。

②人が動くのは「正しい」からでなく 「おトク」だから

正しいだけでは人は動かない！
相手にどんなトクがあるか考えよう。

③主語は「わたしたち」！

自分が動けば世界が変わる！
自分たちができることを次回考えよう。

この日のひとことアンケート

- 区役所の中は想像していたより人が多く、私達のために働いてくれていると思った。
- 交渉したりしたら優しく交換をしてくれたので、人の優しさに触れることができたし、自分も「人のために何かしたい」と思ったので、交流ってとても大切なことだなと思いました。自分の思うSDGsとかをちゃんと話せたので、めっちゃ楽しかったです!!
- SDGsのカードゲームでは、他の班に「おねがいします」と頭を下げることで必要とするカードをゲットすることができた。世界は「おねがいします」「ありがとうございます」ですごく成り立っていると実感した。ありがとうございました!

Vol.3
2023.8.23(水)
Work shop

最終日には、天白区内の
小中学生31名が
「50年後の天白区(未来)に向けて
わたしたちにできること」
を提案してくれました。



小中学生のみんなの
すてきなアイデアは
次のページで
たっぷり紹介!!



3日間の気づきと今後の約束を全員で分かち合いました。 ふりかえって気づいたこと・感じたこと

- 自分が少し行動するだけで未来は変えられるし、変わってしまふ。天白区の未来を想って行動し、これ以上良い未来はないと思うようにしたいと感じた
- 自分の意見をいろいろな人に発信することの大切さ、そして他の人の意見、考え方を理解し、他の意見を尊重することの重要性に気づいた
- 「しょうがない」と片づけてしまうのではなく、解決策、しかも子どもができる範囲で考えることで、果てしない課題に思えたものが身近に感じ、試してみようと思いました
- 自分たちの小さな一歩で天白区はすこしずつせいでいこうと思った
- 温故知新というように、昔を知っているからこそ未来に貢献できることを知ることができて、たくさんのいろいろな知識があるのはとても良いことだと感じた。この町、この世界は、大人が中心ではなく、子どもだからできることがあるんだと思った

わたしが天白区のためにできること

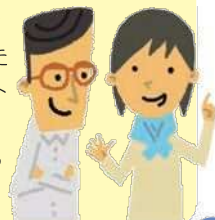
- 今回学んだことを学校や家で伝えること
- 人とのつながりを大切にすること
- 「私も起点」ということを考え、つながっている世界のために全力を尽くすこと、自分にできることを進んで行うこと
- ポイ捨てをせずきれいにするようにし、かぼつちの有名度をあげること

他にもたくさんみんなの
意見が集まったよ



子どもたちのサポート役として参加した大学生の気づき

- 天白区内は広いので、地域ごとに良い点、悪い点のバラつきがあるように感じた
- 子どもたちも良い意見を持っており、とても心強く感じた
- 天白区の良さ、改善点がよく分かった。地域の小・中学校に通う方の考え方や興味を知れた
- 世界の変動は激しい。時代の流れをしっかりとつかまないといけないと思いました
- 自分にできることをやっていくことも大切だけど、みんなで取り組むことも大切だと思いました
- お金も時間もかかり誰もやらないプロジェクトは改善が難しいなと思った
- 他人ごとではなく自分ごと。皆に考えさせられることも多く楽しかったです



子ども発！「2023★未来×子どもプロジェクト」を提案せよ！

Vol.3
2023.8.23(水)
Work shop

1 子ども発！アイデアソン

「2023★未来×子どもプロジェクト」を提案せよ

テーマは、「50年後の天白区（未来）に向けてわたしたちにできること」。まず「ひとりブレスト」でアイデアをたくさん書き出し、次に3人1組の「3人ブレスト」×3セットでアイデアを共有。いいなと思ったことや、感じたこと、素朴な疑問などを伝え合う中で刺激を受け、アイデアを磨き上げていきました。

2 アイデアスケッチ

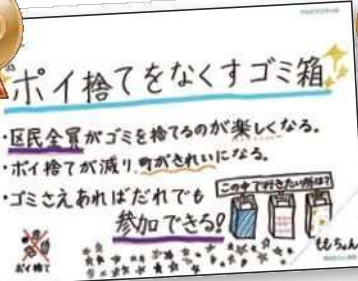
みんなからの刺激を受けて磨き上げた自分のアイデアを1つだけ選んで、1枚のスケッチに表現しました。

3 15秒CMでプレゼン

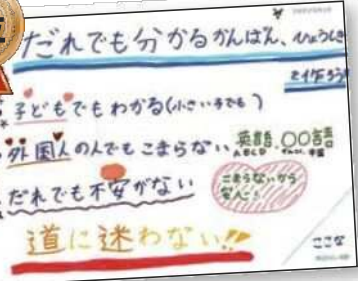
アイデアスケッチのタイトルを読み上げて全員に紹介したあと、大人も含めた会場の全員が机に並べたシートを見て回って、魅力的なアイデアスケッチに★をつけて投票しました。

IDEA SKETCH
アイデアスケッチ

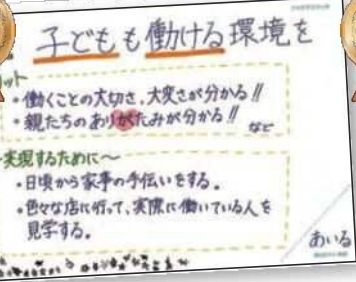
1位



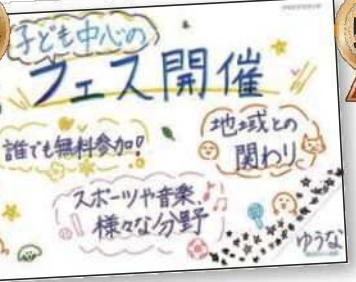
2位



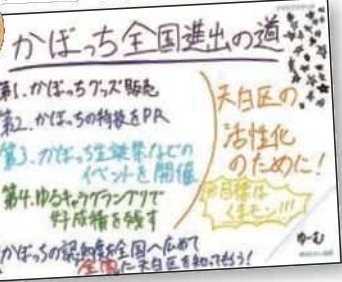
3位



3位



5位



● 票数の多かった提案

	タイトル	よばれた名前	票数
1	ポイ捨てをなくすゴミ箱	ももちゃん	33
2	だれでも分かるかんぱん、ひょうしきを作ろう！	ここな	31
3	子どもも働ける環境を	あいる	28
3	子ども中心のフェス開催	ゆうな	28
5	かぼち全国進出の道	ゆーむ	27

楽しいアイデアがいっぱい！
50年後の天白区の未来も
楽しみだね♪



特別展示「続け未来へ。つなげ天白」展

～天白今昔物語～

天白区の過去と未来を映し出す写真展を令和6年2月1日から令和7年3月31日まで開催しました。天白区役所所蔵の昔の写真と同じ場所を探し出し、同じ角度で写真を撮ってみました。時代のうつり変わりをお楽しみください。



昭和
30年代

旧飯田街道と新道の交差点付近



現代版は
令和6年5～6月に
撮影しました！



昭和
34年頃

野並橋東詰付近より東方を望む



昭和
40年頃

平針住宅バス停付近



昭和
40年頃

天白川堤防から地藏寺を望む



昭和
40年頃

土原一丁目地内



昭和
45年頃

八事裏山交差点付近



昭和
50年代

飯田街道（平針）



昭和
50年代

天白川天白橋付近



昭和
54年頃

平針駅バスターミナル



絶景天白

～未来に残そう天白の絶景～

天白生涯学習センター共催

未来に伝えたい天白区の風景を絵画・写真でご応募いただきました！
「かぼっち健康フェスタ」等の来場者投票で選ばれた入選作品をご紹介します！

絵画部門

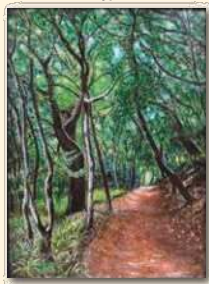
最優秀賞



【半夏生】

天白公園中央草原西側の桜並木と林の間の湿地

優秀賞



【森の小径】

天白公園西側にある一番大きな森の小径

生涯学習
センター賞



【思い出の散歩道】

天白公園の大根池から遊具広場への道

かぼっち
賞



【天白松和花壇】

松和花壇

佳作



【八事神社】

御幸山の八事神社

写真部門

最優秀賞



【樹上より】

天白公園

生涯学習
センター賞

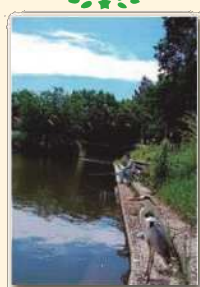
優秀賞



【鳥居】

針名神社

かぼっち
賞



【一羽のギャラリー】

相生山緑地双子池



【キンモクセイ(夜景)】

天白公園

佳作



【明日晴れ間違いなし】

天白区横町天白住宅より西空

佳作



【竹に映える】

名古屋市農業センターdelaファーム